

日本へ留学して

チャン バン トウエン

日本への留学は私にとって一番正しい決定だった。留学まで時間がかかったが、その時間がなかったら、今の生活はとても大変だったと思う。NPO プログラムに参加した時から今まで私は青野先生と日本の施設「杉和会」からたくさん援助をしていただいて、本当にありがとうございました。私は本当に幸せな人間だと思う。日本へ来たばかりの時から今まで心配なことは全くない。すべて青野先生と杉和会とくに窪田さんが準備してくださったから。今住んでいるところはとてもきれいで静かだし、アパートも広くてきれいだ。家賃が安くて、生活に必要なものは全部杉和会が準備してくださった。今通学している大学はとても良い大学だ。先生たちもとても親切だから毎日学校へ行くのが楽しみだ。今アルバイトしている施設は広くて、きれいで、アパートから近いからとても便利だ。また、施設の皆さんはとても親切で、分からないことがあったら、すぐ教えてくれる。仕事もあまり大変じゃなくて、頑張ればできると思う。日本へ来てから3カ月ぐらいで、まだ長くはないが、今私はとてもうれしくて、幸せだ。もし、もう一度選ぶ機会があったら、きっと、日本へ留学することを選ぶ。留学したい人にとって、一番気になる問題はお金の問題だと思う。でも、私は日本へ来た後、お金は全然問題とならない。日本へ行くためのお金が要らなくて、日本へ持ってくるお金も15万円だけで足りる。生活費は1か月6万円から6万5千円まで。アルバイトのお金はそのぐらいなので全然大丈夫だ。学費は全部、施設にたてかえて支払っていただくので安心して、勉強できる。また、岐阜県や大学から奨学金がもらえるのでそれは貯金するつもりだ。2年間大学に通学するのであまり貯金できないが、いっぱい知識を貯められるし、日本語の能力も高くなるし、自分の視野も広がる。でも、一番大切なのは、介護福祉士の国家試験が受けられることだ。もし、国家試験に合格したら、将来の進路がとても明るくなると思う。お金を稼ぐことは大切なのは当たり前だが、ちょっと広く考えてみると留学の大切さが分かると思う。自分にとって、今の生活はベトナムの生活に比べて良いこと。ですから、皆さんはもし日本へ留学するつもりがあったら、迷わず、試してください。

(2019年8月13日)